

## [ご意見 34]

**Subject:** 10月5日付けのご意見について

10月5日付けの 校長先生へのご意見を読み、感じたことを書かせて頂きます。

1日の総会で校長先生が発言された内容は、先生の立場を考えれば、大変勇気のある発言であったと思います。

今回の噂(私自身は この意見箱で初めて目にしたのですが)の真偽はわかりませんが、もし、本当に各先生方の活動を制限されたのであれば、それは「先生方には何があっても教育の質を下げないよう、教育活動に集中してもらいたい」という思い、そして上司として部下を守ろうという思い(派遣の先生方は審議会の指示のもとに教育活動を行う、と何かの紙に書いてあったように記憶しています。)からのことではないか、と思います。ご自身は はっきりと あのような発言をされ、審議会の皆さんから どんなに睨まれていることでしょう。

もともと、今回の反対運動は 校長先生が共用に懸念を示し、審議会にたてついて下さらなければ始まらなかったのではないのでしょうか。子供達の環境を守ろうとして下さって、この数ヶ月 どんなにづらい立場にたってこられたか、その苦しみは 私達に想像できるものではないと思います。

先生方の参加を得たいのは もちろんではありますが、校長先生が 学校のことを 心から大切に下さっていることに 疑う余地はない、と思います。当然ながら、この運動の先頭に立っている方々のご苦勞も 十分ご存知だと思います。協力できる所は協力しながら、運動を進めて行きませんか？